

独自技術で物流に新たなソリューションを

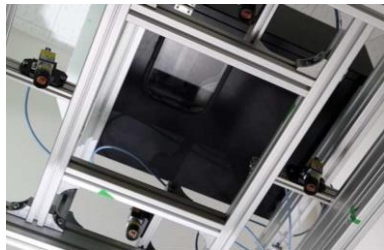
Kyoto Robotics 株式会社（滋賀県草津市）



製造現場を自動化するピッキングロボットシステムを開発・販売している。同社のピッキングロボットシステムを導入することで、積付け／デパレタイズ（ケースピッキング）が可能となる。物流倉庫・運輸業界においては現在、取扱量の増加、人手不足に拍車がかかっており、同システムは世間からより一層の注目を集めている。

“三次元”を軸に進化してきた事業

創業当初は自動かつ高精度な3次元計測技術でプロジェクトを成功させ、次に3次元認識技術にも着手し3次元ロボットビジョンセンサを開発。



「ロボットの目」を作ることに成功した同社は3次元ビジョンセンサ業界の先駆者となり、5割程度のシェアを獲得した。

現在は荷卸しを自動化する、ピッキングロボットシステムを開発。顧客にとって導入のハードルが非常に低くなっており、段ボールに特化した荷卸しを行うケースピッキングロボットシステムは、顧客が設置工事の手間だけで導入できる。また、同システムの最大の特長は「マスタレス&ティーチレス」であり、設置後に顧客がシステム登録、調整を行う必要がない。それらの特長が顧客の導入のハードルを下げることに繋がっている。

文化> 戦略> 戦術。企業文化を強くする

収益としては、3次元ロボットビジョン事業を開始して以来なかなか黒字が実現できていなかったが、現在黒字化の目途が見えてきた。当面は営業に注力していき、販売先を拡大していく予定である。

中長期的には、中国への進出や新事業の子会社設立等、今後事業計画として検討していることは様々あるが、同社が本質的に一番取り組むべきことは企業文化を強くすることだと社長は感じている。企業にとって重要なことは、順番に「文化> 戦略> 戦術」であり、良い企業文化がなければ良い戦略は作れない。共通の価値観が根付いた時、同社は更なる飛躍を遂げるだろう。



《企業情報》

Kyoto Robotics 株式会社
525-0059 滋賀県草津市野路1-15-5
フェリエ南草津4F
代表執行役 徐 剛
<https://www.kyotorobotics.co.jp/>

《関西のベンチャー企業である意義》

我々は立命館大学発のベンチャーであり、立命館大学、滋賀県、草津市、近畿経済産業局からの支援がなければ、ここまで成長することはできませんでした。（代表執行役 徐 剛）

